

外科

副統括診療部長	: 太田 徹哉(外科一般、消化器)
診療部長	: 藤原 拓造(腎臓移植)
医 長	: 國末 浩範(消化器)
スタッフ数	: スタッフ 9 名、後期研修医 5 名

「概要と特徴」

消化器外科(上部下部消化管/肝胆膵)・乳腺甲状腺外科・腎移植外科・一般外科を担当しています。

月曜から金曜まで毎日が外科の手術日となっており、各臓器別のスタッフが分担して、緊急手術も含み年間約 900 症例の手術を行っています。多くの手術に接することで、外科の基本的な手術は勿論のこと、難易度の高い肝胆膵外科手術、先進的な内視鏡外科手術や腎臓移植手術の技術を習得することができます。

手術ばかりでなく、術前・術後管理を通して、内科的な診断学や全身管理の技術をベッドサイドで学ぶことができます。外科救急対応にて、外傷の基本的処置や急性腹症の診断と治療(緊急手術を含む)を学ぶことができます。また、腫瘍外科として「がん治療」を、移植外科として「移植医療」の実際を経験できます。

「初期研修の基本的方針」

- ・ 手術の前後、大きく変動する患者の全身管理法を学ぶ。
- ・ 手術を受ける患者の精神的ケアを通じて、患者とのコミュニケーション法を学ぶ。
- ・ 外科診療や手術の中で、チーム医療の重要性を理解する。
- ・ がん治療の主たる方法である外科治療の考え方を学ぶ。
- ・ 救急の場で実践可能な、基本的な外科手技を習得する。

「研修予定表」

行 事	曜 日	時 間
早朝ミーティング	月・火・水・金	8:15～8:30
抄読会及びミーティング	木	8:00～8:30
術後症例・外科カンファレンス	月	18:00～19:30
術前症例カンファレンス	水	18:00～19:30
外科・消化器科合同カンファレンス	水	19:30～20:30

「指導体制」

担当医・スタッフ医師・後期研修医(レジデント/専攻医を含む)の 3 人でチームを組んでおり、その下に初期研修医が入る体制をとっています。基本的にマンツーマンの指導を行っています。初期研修医は、チームの一員として、担当患者の術前診断、手術術後管理を一貫した流れで行います。副統括診療部長の太田が初期研修全体の責任者にて、疾患に応じて以下のスタッフが担当医となって指導します。

- 上部消化管外科 : 松村 年久、柿下 大一
- 下部消化管外科 : 國末 浩範、瀬下 賢
- 肝胆膵外科 : 太田 徹哉、久保 孝文
- 乳腺甲状腺外科 : 秋山 一郎、野上 智弘
- 腎臓移植外科 : 藤原 拓造

「経験可能な症例や手技」

- ・ 経験可能な症例
 - 消化器外科手術
 - ◇ 上部消化管外科(食道、胃、十二指腸)
 - ◇ 下部消化管外科(小腸、大腸、直腸、肛門)
 - ◇ 肝胆膵外科(肝臓、胆道、膵臓)
 - ◇ 各領域内視鏡外科手術を含む
 - ◇ 緊急手術も随時対応
 - 一般外科手術(鼠径ヘルニア、皮膚・皮下腫瘍摘出、中心静脈リザーバー挿入)
 - 乳腺・甲状腺外科手術(乳腺、甲状腺)
 - 腎移植外科手術(腎移植、内シャント)
- ・ 経験可能な手技
 - 皮膚・軟部組織の縫合、血管の結紮
 - 創傷処置法
 - 外傷の初期対応
 - 経鼻胃管・尿道カテーテル挿入、中心静脈カテーテル挿入
 - 胸腔・腹腔内穿刺など
 - 内視鏡外科手術を含む、基本的な外科手術手技

「外科専門研修について」

外科専門研修としては、基幹施設として『岡山医療センター外科専門研修プログラム』、連携施設として『岡山大学広域外科専門研修プログラム』の2コースを用意しています。(詳細は、専門研修プログラムページを御覧ください)

どちらのプログラムにおいても、当院で2年間の外科専門研修が可能です。当院では、外科専門医取得に必要な消化器外科・乳腺甲状腺外科・呼吸器外科・心臓血管外科・小児外科手術症例を全て経験することができます。

「研修責任者よりひとこと」

手術はリスクの高い治療法であり、その技術習得にも時間がかかります。しかし、自分の手で治療し、よい結果が得られたときの喜びは何ものにも換えられません。スタッフ一同熱いハートを持って、外科医を目指す研修医を支援します。

研修希望時の連絡先は、外科: 太田 徹哉まで